

「夢に向かって、地域と共に伸びる文洋っ子」 の育成に向けて

下関市立文洋中学校

学校運営協議会について

- 文洋校区連合運営協議会（関西小学校・桜山小学校・文洋中学校）R2.9.30 実施
- ・文洋校区小中合同研修会（中学校英語科の公開授業）

・講話

講師：NPO法人シンフォニーネット 副理事長 岸田 あすか 様
テーマ：「共生社会の実現に向けた取組」

特色ある活動

- 地域教育ネット（まちづくり協議会）との連携

Kananowa というボランティア団体を中心になって行う照子親（てらこや）活動では、小学生から中学生までの幅広い発達の段階の児童・生徒に学習支援や体験支援を行っています。例年は、長期休業中に中学校を利用して行っていますが、今年度はコロナ禍のため、保護者の自宅を中心に小規模で活動しました。本校生徒は、自主学習をしながら小学生に勉強を教えており、自己有用感の育成にもつながっています。

また、今年度の特色ある取組として、コロナ禍で元気を失っている町の事業所に、子供たちのメッセージとハーバリウムを届けて元気を出してもらおうという「まちを元気にプロジェクト」を行いました。届けた生徒たちは、地域の方々からお礼と感謝の言葉をもらい、自分たちの取組が地域に貢献できたことをとても喜んでいました。本校は、地域と協働して地域を愛する子供たちを育てるとともに、地域の活性化に寄与することをめざしています。



照子親



まちを元気にプロジェクト

- 小・中・高連携の地域貢献活動（おはピカ Day）の推進

「おはピカ Day」は、毎月11日に校区内の小・中・高等学校が連携して行う「あいさつ&ゴミ拾い運動」です。本校では、おもに生徒会執行部があいさつ運動に参加し、一般生徒は自宅から学校までの道のりをゴミ拾いしながら登校しています。どちらも地域貢献の活動として定着しており、生徒のボランティア精神の育成につながっています。



おはピカ Day

来年度に向けて

今年度は、コロナ禍のためこれまで継続して行ってきた活動を縮小した部分もありましたが、このような状況だからこそできる新たな取組を行い、成果を得ることもできました。今後も「地域と共に伸びる文洋っ子」の育成に向けて、効果的な活動を仕組んでいきたいと思えます。

地域で育つ「気づき、考え、実行する」子供たち

下関市立関西小学校

学校運営協議会について

(1) 第1回 6月24日(水)

今年度の学校運営方針や学校運営協議会の活動計画の承認の後、今年度の取組について協議しました。主な内容として、文洋中校区が連携して取り組んでいる「おはピカ Day」を、キャラクターを応募したり横断幕を作成したりして取組をさらに充実させること、青年会議所による学校支援活動に募集して、遊具のペンキ塗りを実施すること等が話し合われました。

(2) 第2回 10月22日(木)

各学級での授業の様子を参観した後、学校評価アンケートをもとに今年度の取組の進行状況について協議しました。

(3) 第3回 2月10日(水)

今年度の振り返りと次年度への展望について協議しました。

特色ある活動

(1) おはピカ Day

文洋中校区の各学校の児童生徒が、毎月11日の朝、あいさつやごみ拾いをしながら登校する取組です。本校では、児童会が募集したキャラクターを全校児童によるアンケートで決めたり、あいさつ運動の際に地域にアピールするための横断幕を作成したりして、気運の醸成を図りました。



おはピカ Day

(2) 文洋中校区合同運営協議会

文洋中校区で、障害者の自立支援事業に取り組んでいるNPO法人「シンフォニーネット」の副理事長岸田あすかさんをお招きして、「障害があっても生き活きとすごせる街に！」と題したご講演をいただきました。



文洋中校区合同運営協議会

(3) 地域と連携した教育活動

- ・NPO法人「環境みらい下関」と連携した「菜の花プロジェクト」。
- ・地域の方とともに学力向上を目指す「かけ算名人チャレンジ」。
- ・SDGsにつながる「学校に咲く花を活かそう」プロジェクトにおける、草木染や花生け活動。

来年度に向けて

少子高齢化に伴い、本校の児童数も急激に減少しており、より一層の地域との連携した取組が必要となってきています。その一環として、来年度より運動会を地域との合同で開催することとし、地域の体育振興会とプログラムや運営方法について協議を進めているところです。

「文洋校区でめざす子ども像」の実現をめざして

下関市立桜山小学校

学校運営協議会について

①実施回数

学期に1回開催

②主な協議内容

- ・本年度の活動について（6月10日）
- ・全校研究授業及び授業検討会への参加（10月14日）
- ・1学期学校評価、学校行事について（12月2日）
- ・本年度の反省及び来年度へ向けて（2月予定）

③コーディネーターの活動

- ・毎週水曜日の午前中、翌週の絵本読み聞かせ「絵本 DE 笑顔」のボランティア手配及び確認を行っている。
- ・每学期1回水曜日の放課後に、放課後子ども教室「桜山小さくらんぼ」を実施した。
1学期「ハーバリウムづくり」
2学期「スワッグづくり」



↑ 校内研修への参加のようす



↑ さくらんぼ

「ハーバリウムづくり」

特色ある活動

◆講演会の実施

実施日：令和2年9月30日（水）14：40～

テーマ：「共生社会の実現に向けた取組」

参加者：52名 文洋校区小中学校運営協議会委員

NPO 法人シンフォニーネットの岸田あすか様をお招きして、「共生社会の実現に向けた取組」について具体的な事例をもとに様々な取組について紹介していただきました。深く学校教育にもつながるお話もあり、参加者一同研修を深めることができました。

◆「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

毎月、文洋中学校校区1中学校・2小学校で共通して挨拶・ごみ拾い運動「おはぴかDAY」を行っています。

◆地域の方の学校支援活動

地域の方や保護者に各教科の授業やクラブ活動の学習支援していただいています。教科では、家庭科の裁縫実習・ミシンの作業での支援をしていただきました。また、クラブ活動では、地域の方の専門性を生かして茶道クラブの指導をしていただいています。



↑ 文洋校区連合運営協議会



↑ おはぴかDAY

来年度に向けて

- ・学校が主体となって行っている活動、地域が行っている行事について互いに情報発信を行いそれぞれの取組への積極的な参加を促す必要があります。
- ・地域の高齢者とのつながりを大切にしながら、地域の大人がしっかりあるべき姿（言葉遣い・挨拶など）を子供たちに示していきます。
- ・ふるさとを愛する心の育成をめざし、小中連携を軸に、地域とのつながりが深まる活動を推進していきたいと思えます。